

令和2年 労働災害発生状況

〔令和2年速報値:令和2年7月末現在〕

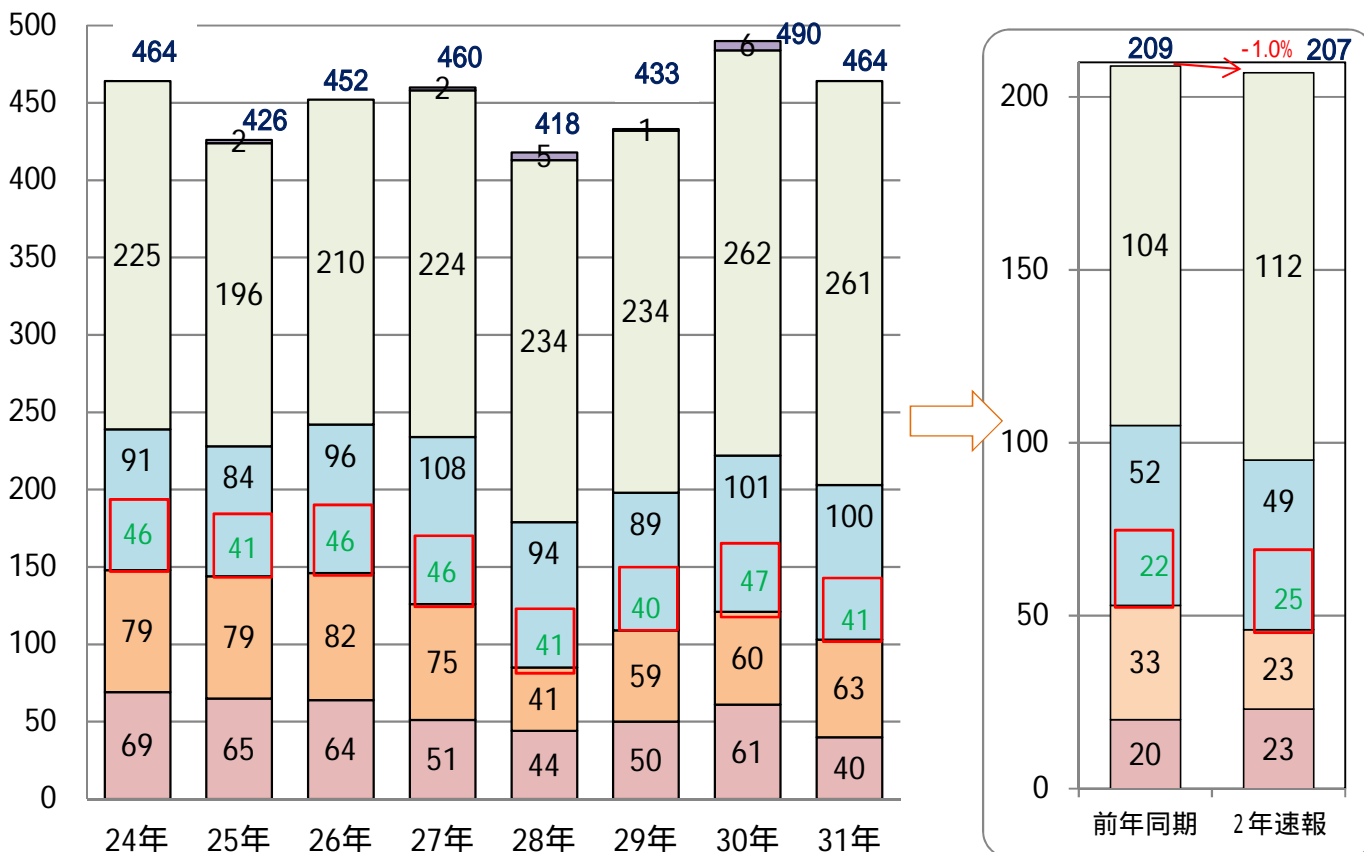
向島労働基準監督署

死傷災害件数(休業4日以上)

令和2年における休業4日以上の死傷災害は、全産業で207件発生し、前年と比較して2件減少(-1.0%)となっています。

業種別では、運輸交通業・貨物取扱業(-5.8%)と減少していますが、第三次産業(+7.7%)前年と比較して増加しています。

■ 製造業 ■ 建設業 ■ 運輸交通業・貨物取扱業 ■ 第三次産業 ■ 左記以外の業種



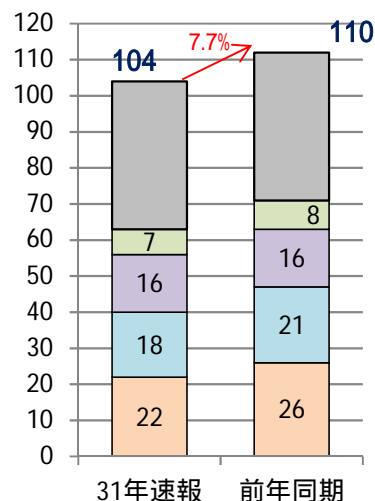
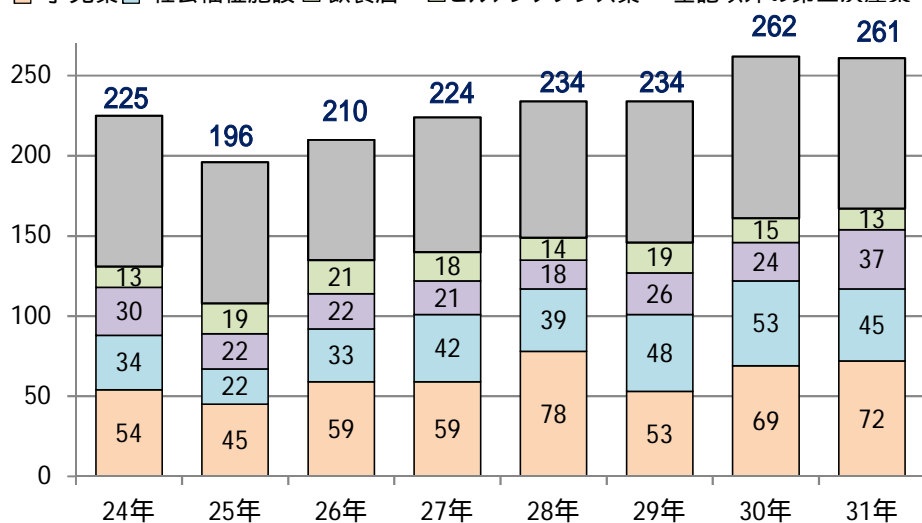
	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	31年	前年同期	2年速報
製造業	69	65	64	51	44	50	61	40	20	23
化学工業	11	14	10	7	13	15	10	10	5	0
金属製品製造業	22	20	24	17	9	16	25	11	3	11
建設業	79	79	82	75	41	59	60	63	33	23
建築工事業	59	57	65	60	32	36	46	50	24	17
運輸交通業・貨物取扱業	91	84	96	108	94	89	101	100	52	49
陸上貨物運送事業	46	41	46	46	41	40	47	41	22	25
ハイヤー・タクシー業	42	40	42	59	49	48	50	57	26	22
第三次産業	225	196	210	224	234	234	262	261	104	112
小売業	54	45	59	59	78	53	69	72	22	26
社会福祉施設	34	22	33	42	39	48	53	45	18	21
飲食店	30	22	22	21	18	26	24	37	16	16
ビルメンテナンス業	13	19	21	18	14	19	15	13	7	8
上記以外の業種	0	2	0	2	5	1	6	0	0	0
全産業	464	426	452	460	418	433	490	464	209	207

道路貨物運送業 + 陸上貨物取扱業

「陸上貨物運送事業」

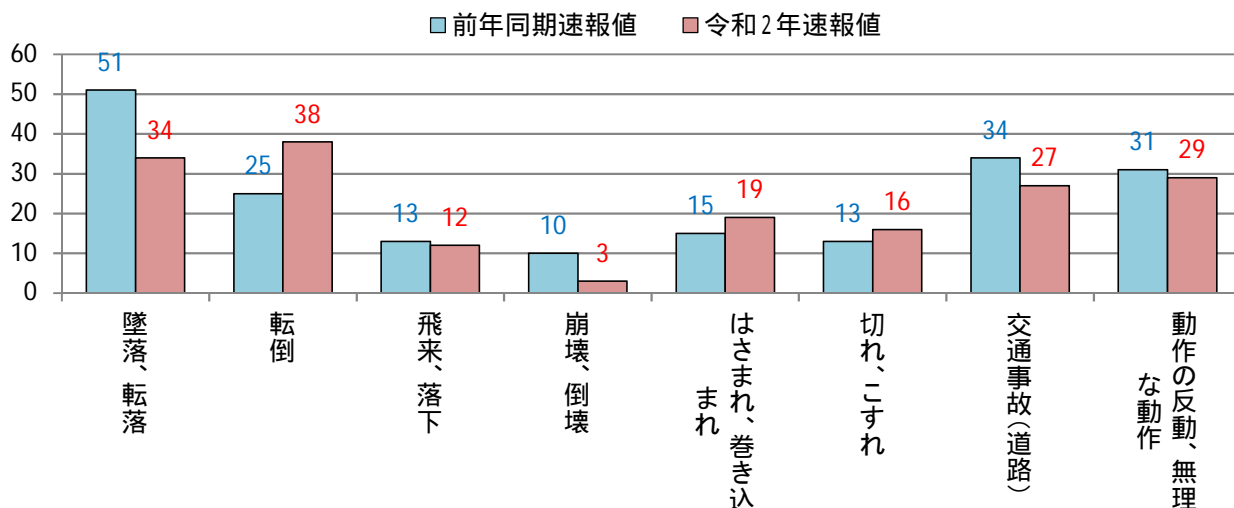
第三次産業における災害発生件数

■ 小売業
 ■ 社会福祉施設
 ■ 飲食店
 ■ ビルメンテナンス業
 ■ 左記以外の第三次産業

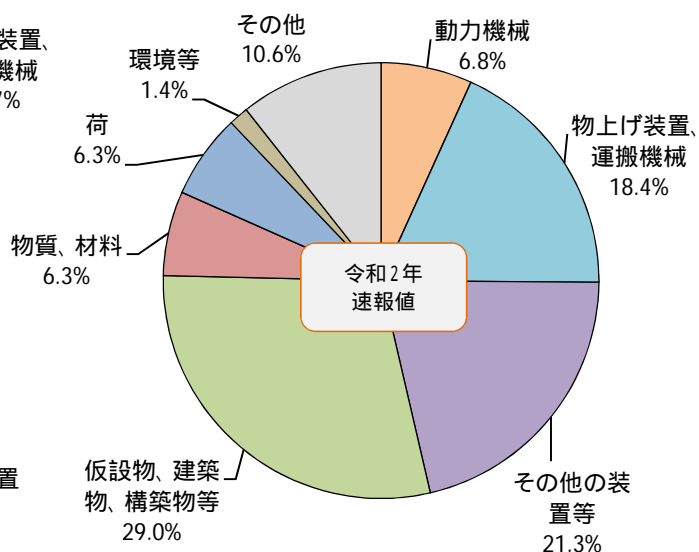
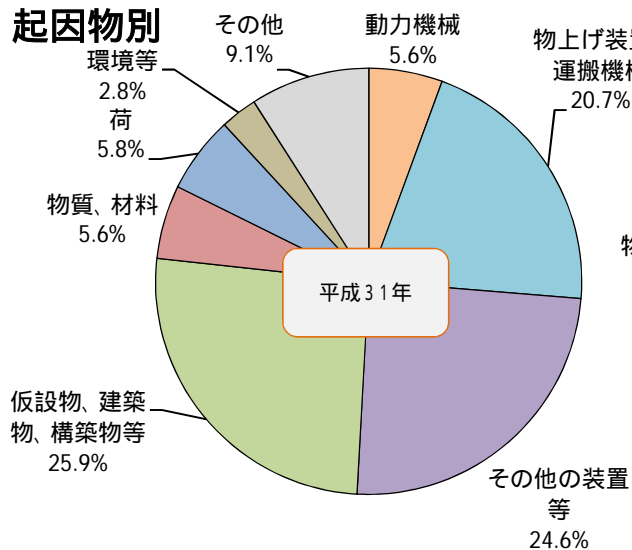


主な事故の型別（令和2年速報値）

令和2年における休業4日以上の労働災害は、「事故の型別では、「墜落・転落」が大幅に減少し、「転倒」災害が増加しています。



起因物別



◇管内における“最重点課題”

墜落災害防止の強化



【脚立の使い方のポイント】 脚立の種類などで異なる場合があります
作業前に、設置場所、開き止めのロック、脚部などを点検します
脚立は平坦で安定した、滑りにくい、沈まない場所に水平に設置します
脚立は天板から2段目以下の踏みさんを使用します
身を乗り出したり、頭の真上での作業などはしないように
両手で作業する場合は作業床のある可搬式作業台が有効です
墜落した時などに頭部を保護するためのヘルメットの着用が有効です
足元が高さ2メートル以上となる脚立の単独使用は禁止です
荷物を持ったの昇降は避けます

脚立等の安全対策を進めるには？

詳しくはこちら

脚立 ポイント

検索

転倒災害防止

チェック項目

- 1 通路、階段、出口に物を放置していませんか
- 2 床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか
- 3 安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか
- 4 転倒を予防するための教育を行っていますか
- 5 作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか
- 6 ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか
- 7 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか
- 8 ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか
- 9 ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか

転倒しにくい職場を作るには？

詳しくはこちら

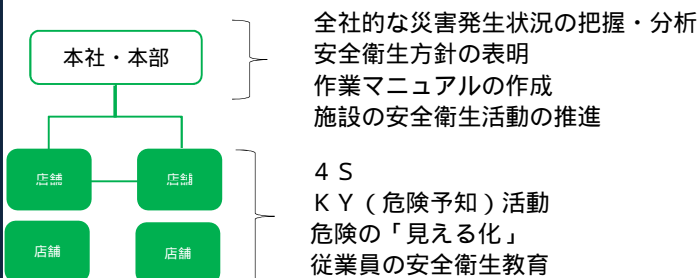
STOP 転倒

検索

第三次産業（小売、社会福祉、飲食）

働く人に安全で安心な店舗・施設づくり推進運動

本社・本部と店舗・施設の役割に応じた全社的な安全衛生活動を展開し、労働災害を減少させることを目的とする運動



作業の前に検討！

腰痛対策

- ・重い物の運搬方法を検討（台車使用、複数人対応等）
- ・ムリな姿勢とならない作業空間の確保

労働者に教育を！

- ・荷を持つ際の姿勢（を曲げ、腰を落とす）
- ・腰を捻る等の急な動作をしない



安全・安心な店舗・施設をつくるには？

詳しくはこちら

安全 安心 推進運動

検索

建設業対策

ハーネス型安全帯の使用

< 利点 >

身体から抜けにくい
墜落阻止時の衝撃分散
(胸・腹部の圧迫低減)
宙づり状態でも負担軽減

フルハーネス型安全帯の着用
について、法改正しました



足場からの墜落・転落災害防止 総合対策推進要綱

足場に関する 作業段階ごとの 留意事項

- ・設計時
- ・組立て/解体時
- ・作業時



詳しくはこちら

足場 総合対策

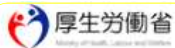
検索

安全衛生教育（雇入れ時に“やらなければならない事項”、“やってはいけない事項”の教育）



労災防止の知識、安全最優先での荷役作業

- ・荷役作業の基本知識
- ・ガイドラインにある荷役作業の安全対策
- 危険を感じる力の向上、資格の取得
- ・危険予知訓練
- ・作業指揮者への教育



職場のあんぜんサイト



- ・働く人の安全を守るために有用な情報を発信し、職場の安全活動を応援します。
- ・働く人、家族、企業が元気になる職場を創りましょう。



第13次労働災害防止計画（3年度）
推進中

平成31年（令和元年）災害事例（休業見込み3か月以上抜粋）

時刻	年齢	起因物	事故の型	発生状況
15時台	40歳代	はしご等	墜落	梁の塗装中、1.5m位の脚立から落下し、下にあった資材に激突した。
11時台	70歳代	通路	転倒	廊下のワックス清掃中、誤って立ち入ったためワックスで滑って転倒した。
8時台	70歳代	起因物なし	動作の反動	居室で床に座り込んでいたお客様を抱き起こそうとして腰を痛めた。
15時台	60歳代	金属材料	はさまれ	クレーンを用いて資材を降ろそうとしたところ、吊り荷と資材に指をはさんだ。
10時台	60歳代	乗用車	交通事故	自転車で顧客先に向かう途中、信号機のない交差点で直進してきた車にはねられた。
16時台	20歳代	木材	倒壊	ベニヤ板を1階から2階へ搬入中、立てかけていたベニヤ板が倒壊し下敷きになった。